

(別紙)

政務三役会議「関越自動車道における高速ツアーバスの事故を踏まえた公共交通の安全対策強化に係る検討チーム」について

1. 目的

今般4月29日に関越自動車道において事故を起こした「高速ツアーバス」は、旅行業者が貸切バスを使って、公共交通輸送サービスとしての高速バス輸送を提供するものである。

この高速ツアーバスの利用者に対する安全確保については、旅行業者と貸切バス事業者の双方が、連携しつつ適切に対応していく必要があるにもかかわらず、現時点までの調査によれば、本件については、貸切バス事業者の不適切な運行管理や旅行業者の不適切な旅程管理に加えて、相互の連携や適切な情報提供が欠如するなどの問題が明らかになっている。

今回の事故の重大性に鑑みれば、高速ツアーバスを含む貸切バス事業等の安全対策の強化とその実効性の確保は極めて緊急性の高い課題である。そのためには、高速ツアーバスを企画する旅行業者を「高速乗合バス事業」へ移行させるといった構造的な改革を進める必要があるが、高速ツアーバスは既にかなり普及しており、こうした対策が定着するまでの間も、政務のリーダーシップの下に、安全対策の強化とその実効性の確保を政策的に推進し、もって公共交通の安全の確保に万全を期する必要がある。

2. 検討の対象となる事故再発防止対策について

- (1) 高速ツアーバスを企画する旅行業者の「高速乗合バス事業」への移行の促進
- (2) 乗務員の運転時間の基準や配置指針の見直し
- (3) 旅行業者と貸切バス事業者の書面による適正な取引実施の確保
- (4) バス事業者や旅行業者等に対する監査体制の強化
- (5) 高速ツアーバス等の安全に係る利用者に対する情報提供
- (6) 高速ツアーバス等の安全に係る利用者からの苦情受付窓口
- (7) 被害者支援機能の強化
- (8) 事業者団体等による安全対策実施の促進
- (9) 運輸安全委員会の活用を含めた自動車事故に係る原因究明のあり方
- (10) そのほか、公共交通の安全確保に資する事故再発防止対策

3. 今後の進め方

政務三役会議の下に以下のメンバーによるチームを設置し、必要な対策について早急に洗い出しをするとともに、本年の夏の多客期に間に合うよう対策を打ち出していく。

(別添)

政務三役会議「関越自動車道における高速ツアーバスの事故を踏まえた公共交通
の安全対策強化に係る検討チーム」メンバー

座長	吉田副大臣
	奥田副大臣
座長代理	津川政務官
	津島政務官
	室井政務官
	松崎哲久前国土交通部門会議座長
事務局員	官房長
事務局員	総合政策局長
事務局員	自動車局長
事務局員	観光庁長官
事務局員	運輸安全委員会事務局長
事務局員	危機管理・運輸安全政策審議官